

## 事業者向け

### 放課後等デイサービス自己評価表

(数値は%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	87.0	13.0	0.0	指導訓練室の他に個室を2つ確保されている。活動内容に応じて使い分ける配慮が行われている。
	2	職員の配置数は適切であるか	53.0	40.0	7.0	基準上は適切であるが、支援内容によって足りないと感じることがため、状況に応じた適切な配置を行う。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	60.0	33.0	7.0	肢体不自由の方も身体状況によって受け入れが行われている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	66.0	20.0	14.0	平日は開所・退所、休日は開所・昼休み・退所の後にミーティングを行い確認と振り返り行なわれている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	73.0	27.0	0.0	年に1度実施しており、それに対する研修を行なわれている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	46.5	46.5	7.0	今年度より自己評価表を事業所のホームページにて公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	53.0	40.0	7.0	実施していない。今後検討していきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	73.0	27.0	0.0	非常勤の研修参加率を上げていながら、内部、外部研修を充実させていきたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で放課後等デイサービス計画を作成しているか	80.0	20.0	0.0	利用者のニーズを理解し、それに合わせた支援を行い、日々の変化を記録し、半年に一度の個別支援計画の見直しが行われている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	73.0	20.0	7.0	標準化されたシートについては今後検討していきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	73.0	27.0	0.0	利用者の状況を踏まえた上で、毎回のミーティングにチームとしての方向性を考えている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	86.0	14.0	0.0	曜日、週で子どものニーズに合わせたプログラムを立案、実行している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	73.0	27.0	0.0	休日には、外出、交流、季節に合わせたプログラムなど楽しく学べることを中心に実施している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	73.0	27.0	0.0	一人ひとりのニーズや状況を踏まえた上で個別・集団活動を合わせて実施している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	86.0	14.0	0.0	毎日サービス提供時間までにミーティングを実施し、その日の流れや引き継ぎ事項を確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	93.0	7.0	0.0	送迎によってミーティングに参加出来ない方に対しては、ミーティングでの振り返りの記録し、送迎後に確認が出来る体制を作る。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	86.0	14.0	0.0	支援の内容や利用者の変化や様子等は援助記録書記録し、必要に応じて検討を実施していきたい。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	67.0	33.0	0.0	個別支援計画を見直しの前にスタッフで検討し、そのニーズに合わせた計画を立案している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	60.0	40.0	0.0	全従業員にガイドライン読んでもらい、意識して実施している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	53.0	40.0	7.0	児発管が中心となり支援は行っているが、サ必要に応じて、児発管が中心に参画予定である。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	67.0	33.0	0.0	学校には前日までに送迎時間の連絡をするなど常に配慮し、保護者等との連携を常に取りるように情報共有に心がけている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	53.0	47.0	0.0	現在該当する方はいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	53.0	40.0	7.0	就学前の情報を頂き、情報共有と連携に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	60.0	33.0	7.0	現在、卒業された方がいませんが、新たな事業所や学校などに進学される際は、必要に応じて情報提供していく予定。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	53.0	47.0	0.0	現在実施例はないが、必要に応じて今後実施したい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	40.0	53.0	7.0	プログラムとして実施していないが、必要に応じて交流することを検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	40.0	47.0	13.0	現在、自立支援協議会等には積極的に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	93.0	7.0	0.0	送迎時は保護者に対して日々の様子を報告するとともに、電話やメール等活用しながら、保護者と共通理解に心掛けている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	46.5	46.5	7.0	具体的なペアレントトレーニングではないが、面談などを通して、教育方法や接し方などのアドバイスや保護者と共に学べる場を設けている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	87.0	13.0	0.0	契約時に丁寧に説明するよう心掛けている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	87.0	13.0	0.0	半年に一度の面談時に子育ての悩みなどを助言をしたり、随時相談等の受け付けを行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	40.0	40.0	20.0	保護者会は行っていないが、今後親子プログラムなどの保護者同士が関われるプログラムを実施予定です。

非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	80.0	20.0	0.0	苦情や事故に対しては、速やかに真摯に対応するよう心掛けている。 苦情や事故は周知する予定です。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	80.0	20.0	0.0	月に一度ひまわりキッズα通信として配布して、またイベント・外出など新しいプログラムの際は、詳細を配っています。
	35	個人情報に十分注意しているか	93.0	7.0	0.0	契約時に保護者に個人情報に関する同意書を取り交わすなど十分注意して行なっている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100.0	0.0	0.0	できるだけ分かりやすく、気になる事は随時保護者と連絡を取るよう心掛けている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	60.0	33.0	7.0	デイサービスの方とイベントやプログラムを通して、交流を深めている。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	67.0	26.0	7.0	各マニュアルを作成し、保護者へのお配りはしておりますが、毎年最新版への更新する予定です。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	80.0	20.0	0.0	年に2回、地震・火事を想定した避難訓練等を行なっている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	87.0	13.0	0.0	虐待防止の研修は、今後何度か開催し、全職員が参加するようしていきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	80.0	13.0	7.0	やむを得ず身体拘束を行うかについては今後も子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得る。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	87.0	13.0	0.0	食物アレルギーの子どもについては今後も医師の指示書に基づく対応をする。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	93.0	7.0	0.0	ヒヤリハットは作成しており、必要があれば研修内容に取り組む予定です。	